

魚津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(抜粋)

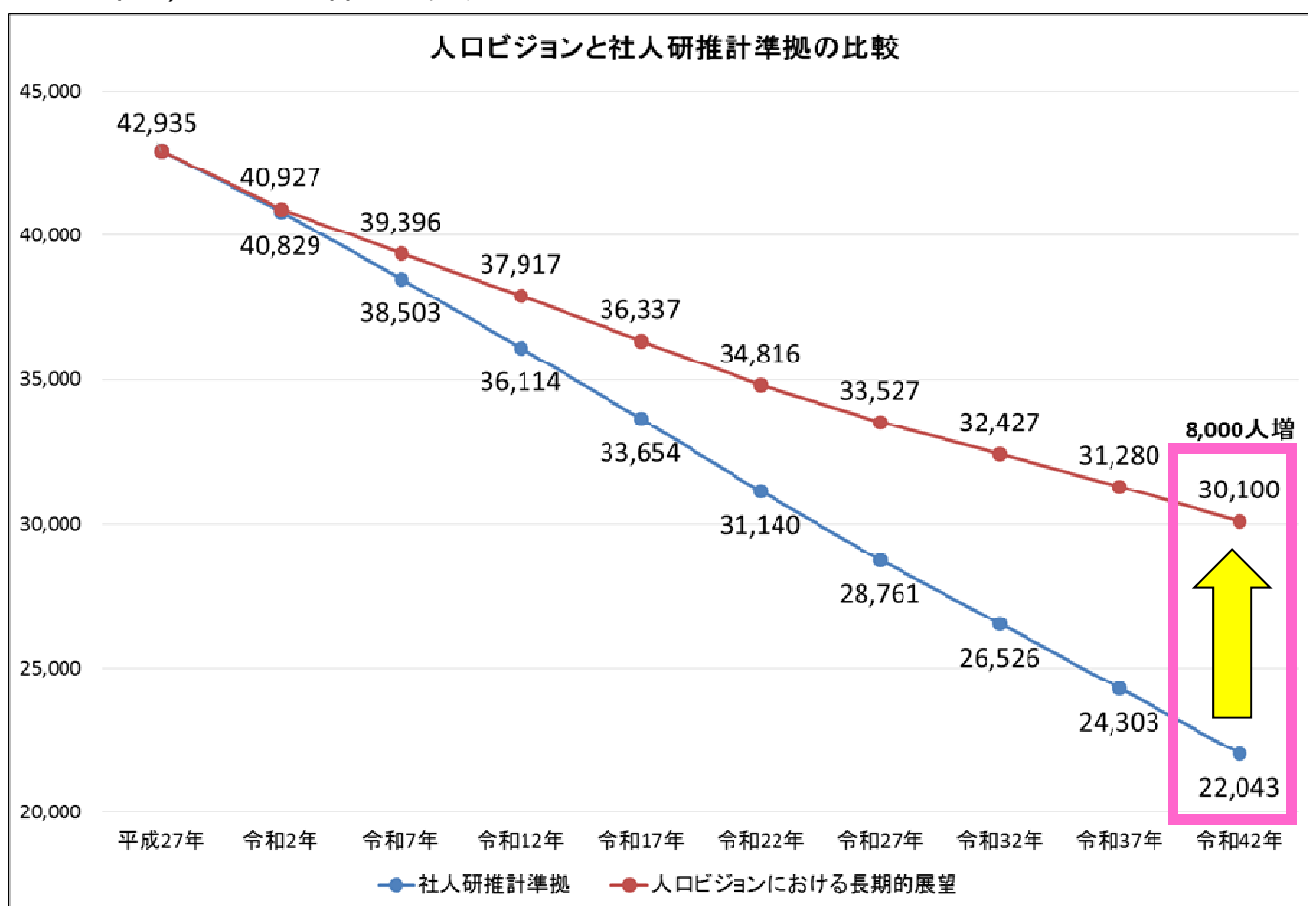
①魚津市人口ビジョンにおける長期的展望

- ◎令和42年（2060年）に人口規模3万人を維持します
- ◎人口構造の若返りを目指します

②長期的展望達成のための目標

- ・合計特殊出生率の段階的な上昇を目指します
 - ① 令和12年（2030年）に1.9程度を達成
 - ② 令和22年（2040年）に2.07程度を達成
 - ③ 令和22年（2040年）以降は2.07程度を維持
- ・若者の地元定着を図るとともに、U・Iターンを促進します
 - ① 令和2年～令和7年（2020年～2025年）の5年間の社会減0を達成
 - ② 令和7年（2025年）以降は毎年20人の社会増を達成

上記の目標を達成することにより、合計特殊出生率と若い世代の純移動率が改善され、2060（令和42）年の推計人口は、社人研推計準拠と比較して、約8,000人の増加が見込まれます。



(1) 魚津市の人口動態状況について

○人口動態における人口について

国勢調査の人口を基準として毎月の自然動態、社会動態の増減により算出しています。

R1. 10. 1まではH27国勢調査確報値、R2. 10. 1以降はR2国勢調査確報値を採用しています。

これとは別に市の住民基本台帳登録者数を基に算出した住民基本台帳人口があります。

① 人口ビジョン目標人口との実績との比較

目標人口との差が大きくなってきている。

資料：とやま統計ワールド

(単位：人)

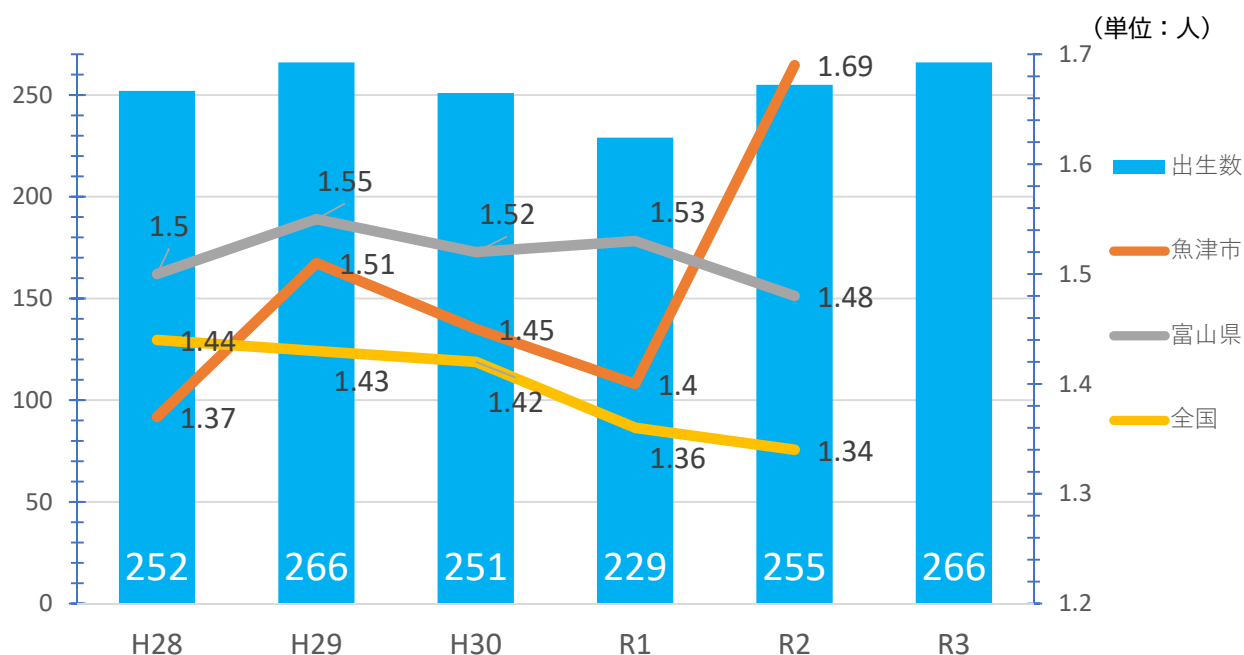
	令和元年 (10. 1時点)	令和2年 (10. 1時点)	令和3年 (10. 1時点)	令和4年 (10. 1時点) (市民課速報値)
目標人口	41, 327	40, 927	40, 621	40, 315
実 績	41, 526	40, 535	39, 896	39, 268
差	199	△392	△725	△1, 047

② 合計特殊出生率(※)の推移

令和2年の合計特殊出生率は上昇しているが2人を下回っている。

(※) {母の年齢別出生数÷年齢別女子人口}
(15歳～49歳までの合計)

資料：魚津市健康センター作成
出生数は年間数



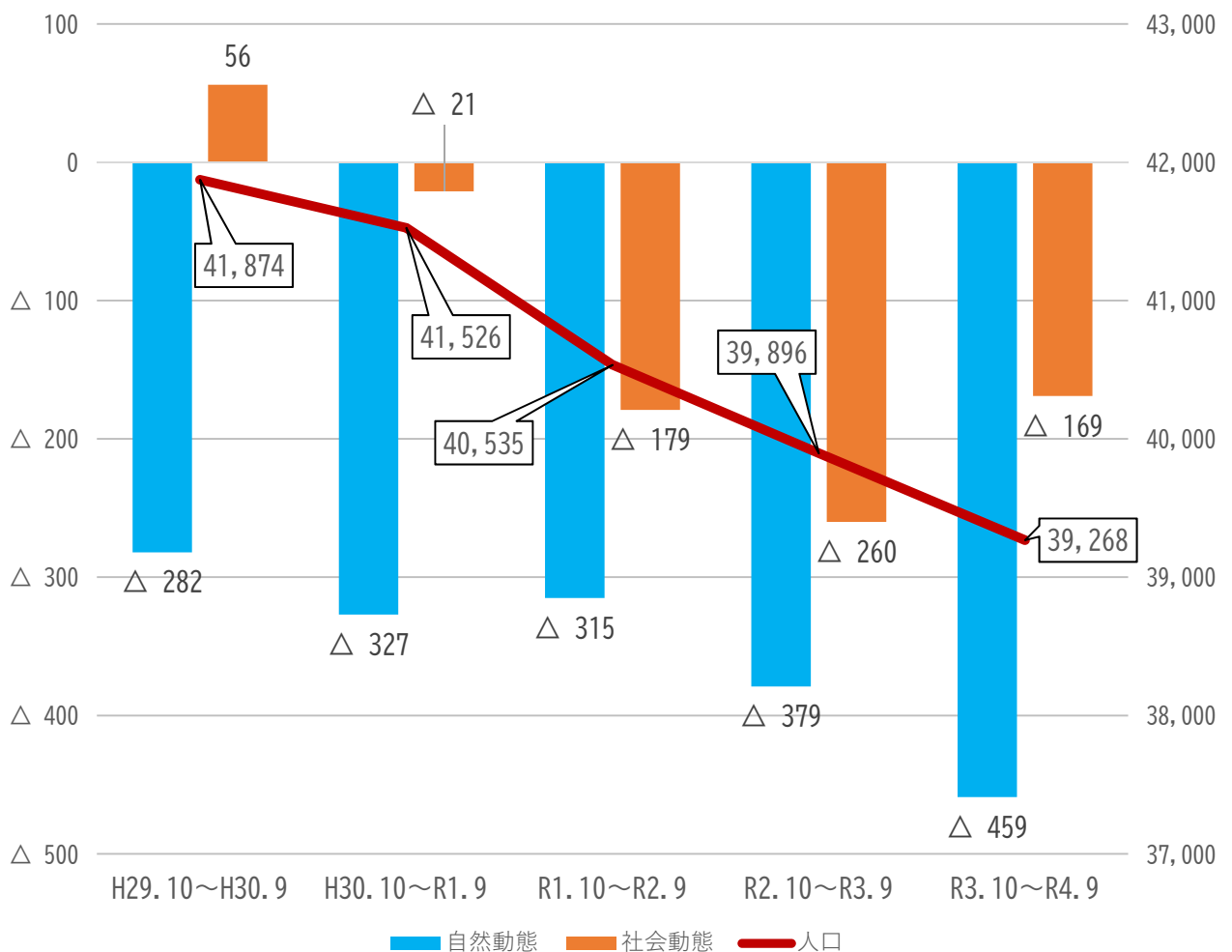
③ 近年の魚津市の人口動態

自然動態、社会動態ともに減少し続けている。

資料：とやま統計ワールド

(単位：人)

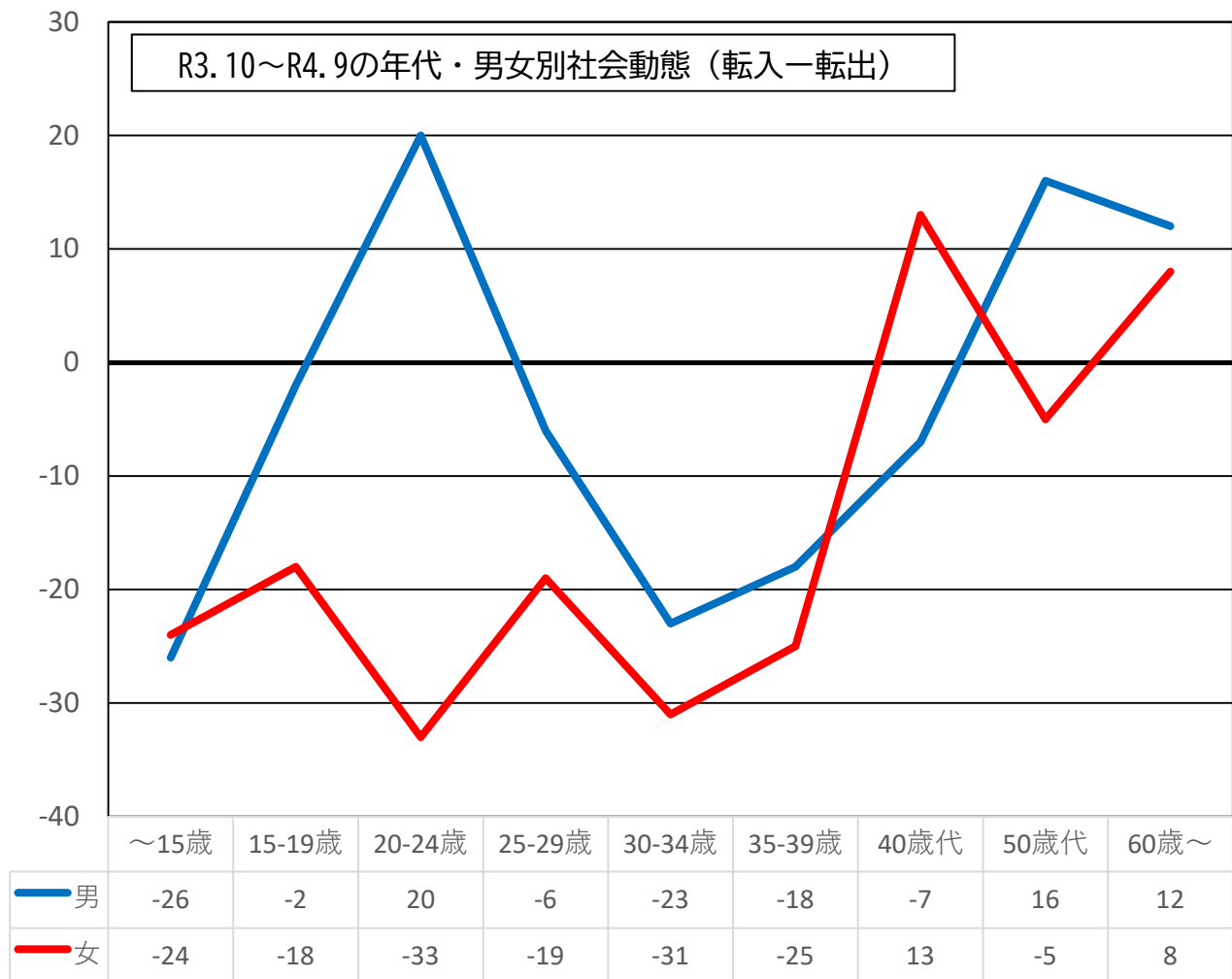
期間	自然動態	社会動態	計	人口
H29. 10～H30. 9	$\Delta 282$ (出生264 死亡546)	56 (転入1,216 転出1,160)	$\Delta 226$	41,874 H30. 10. 1現在
H30. 10～R1. 9	$\Delta 327$ (出生227 死亡554)	$\Delta 21$ (転入1,257 転出1,278)	$\Delta 348$	41,526 R1. 10. 1現在
R1. 10～R2. 9	$\Delta 315$ (出生250 死亡565)	$\Delta 179$ (転入1,112 転出1,291)	$\Delta 494$	40,535 R2. 10. 1現在
R2. 10～R3. 9	$\Delta 379$ (出生226 死亡605)	$\Delta 260$ (転入1,008 転出1,268)	$\Delta 639$	39,896 R3. 10. 1現在
R3. 10～R4. 9 (市民課速報値)	$\Delta 459$ (出生214 死亡673)	$\Delta 169$ (転入1,157 転出1,326)	$\Delta 628$	39,268 R4. 10. 1現在



④ 最近の年齢・男女別社会動態の傾向について

20代では男性は転入が多いが女性は転出超過となっている。10代と30代では男女ともに転出超過となっている。

資料：市民課住基台帳速報値



⑤ 転出入の状況（令和3年10月1日～）

県内では富山市、黒部市間の移動が多く、富山市、高岡市、滑川市、射水市、南砺市、小矢部市、舟橋村、立山町へ転出超過となっている。県外への転出入は転出超過となっており、関東（特に東京都）間の移動が多い。

【以下、転出入者アンケート結果等による考察】

転出超過が一番多い富山市への転出の主な理由は勤務や結婚によるものが多い。

また、富山市への転出数の男女比率は女性の方が高い。一方、富山市からの転入者の男女比率は男性の方が高いが、女性の比率（49.1%）は県内平均（40.4%）よりも高い。

黒部市からの転入者は一時的に魚津市内で賃貸住宅に居住するものの婚姻時に、勤務先が近く、住宅購入価格の安い黒部市の戸建て住宅に転出する傾向が高い。

1. 魚津市への転入状況

資料：市民課住基台帳速報値

（単位：人）

月	転入計	前 住 所 地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	50	20	30	6	2	1	12	0	0	0	0	0	0	0	1	4	4
11月	66	35	31	9	2	6	7	0	1	0	1	0	0	1	0	4	0
12月	62	19	43	5	6	10	16	0	0	1	0	0	0	4	0	0	1
1月	75	35	40	7	0	8	11	2	0	0	0	0	0	1	3	6	2
2月	66	27	39	13	2	11	5	1	0	3	1	0	0	0	0	3	0
3月	181	98	83	17	9	15	20	4	1	0	0	0	0	0	3	8	6
4月	187	121	66	22	1	12	12	1	0	2	1	0	0	7	0	6	2
5月	90	55	35	7	3	3	11	0	0	0	2	1	0	0	0	5	3
6月	109	62	47	22	0	10	9	0	0	1	1	0	0	1	0	3	0
7月	78	37	41	14	0	0	9	1	1	3	0	0	0	2	1	9	1
8月	100	51	49	12	2	12	16	0	0	2	0	0	0	1	0	1	3
9月	93	45	48	12	2	6	20	0	1	0	0	0	0	1	0	4	2
計	1,157	605	552	146	29	94	148	9	4	12	6	1	0	18	8	53	24

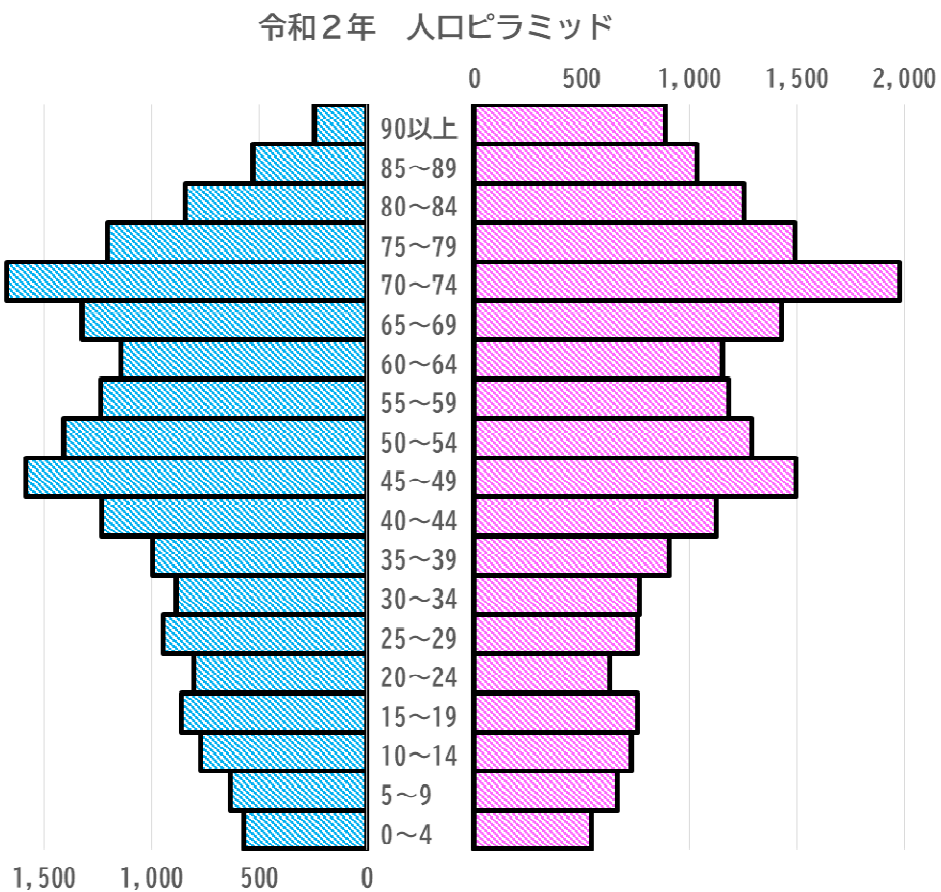
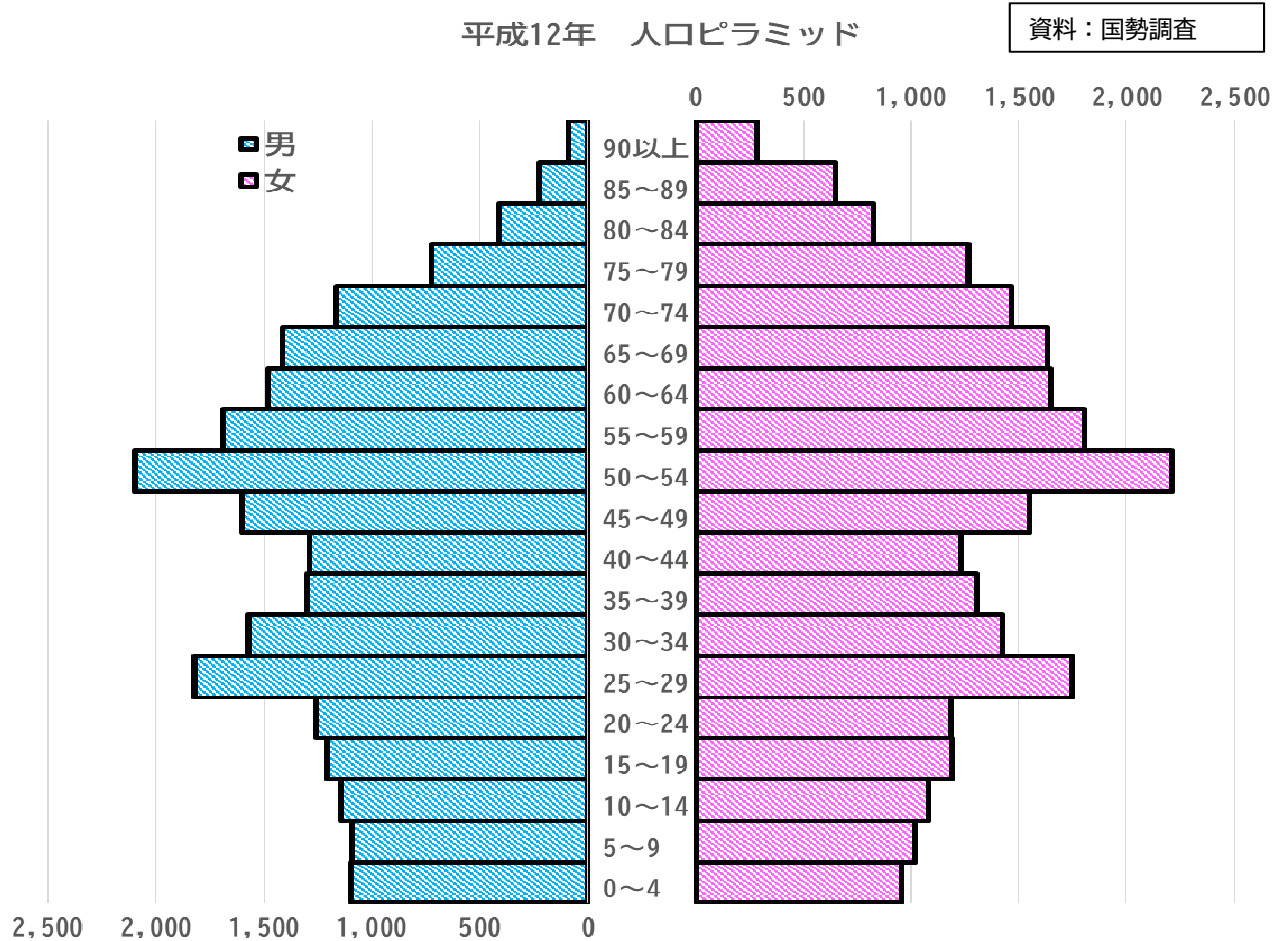
2. 魚津市からの転出状況

月	転出計	新 住 所 地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	100	38	62	17	5	19	9	3	1	1	2	2	0	0	0	0	3
11月	93	30	63	20	0	22	11	1	0	0	0	0	2	0	0	3	4
12月	93	40	53	20	2	7	9	0	0	0	1	0	0	3	3	5	3
1月	71	30	41	18	2	8	10	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
2月	91	43	48	14	1	5	15	6	0	0	0	0	0	2	1	1	3
3月	228	123	105	40	15	15	20	1	1	0	1	1	1	3	1	1	5
4月	128	71	57	26	1	9	9	1	0	1	0	0	1	0	0	7	2
5月	100	50	50	18	1	11	13	0	0	0	0	1	0	0	0	4	2
6月	86	48	38	12	6	6	7	3	0	0	1	0	0	0	1	1	1
7月	114	53	61	23	4	14	9	0	0	3	4	0	0	0	3	1	0
8月	118	68	50	17	1	8	16	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0
9月	103	58	45	17	3	6	14	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2
計	1,325	652	673	242	41	130	142	18	2	9	9	4	4	11	9	27	25

合計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
△ 168	△ 47	△ 121	△ 96	△ 12	△ 36	6	△ 9	2	3	△ 3	△ 3	△ 4	7	△ 1	26	△ 1

⑥ 人口ピラミッド

平成12年（20年前）と比較すると人口構造の高齢化が進んでいる。



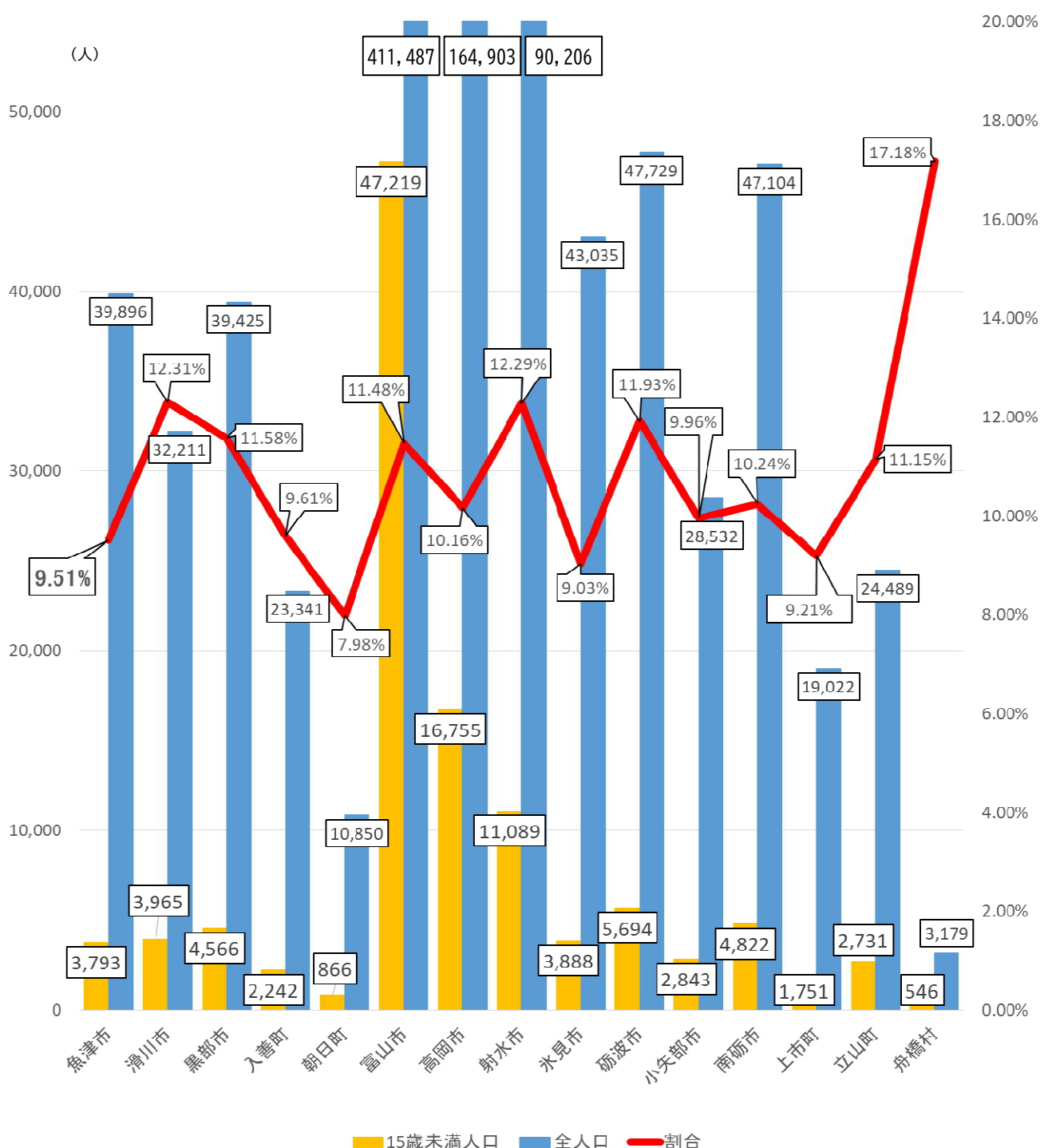
⑦ 県内市町村別の全人口と15歳以下の人口

市全体の人口の15歳以下が占める割合は9.51%となっており、県内市町村ごとの割合と比較すると低い傾向にある。

資料：とやま統計ワールド

	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	高岡市	射水市	氷見市	砺波市	小矢部市	南砺市	上市町	立山町	舟橋村
15歳未満人口	3,793	3,965	4,566	2,242	866	47,219	16,755	11,089	3,888	5,694	2,843	4,822	1,751	2,731	546
全人口	39,896	32,211	39,425	23,341	10,850	411,487	164,903	90,206	43,035	47,729	28,532	47,104	19,022	24,489	3,179
割合	9.51%	12.31%	11.58%	9.61%	7.98%	11.48%	10.16%	12.29%	9.03%	11.93%	9.96%	10.24%	9.21%	11.15%	17.18%

県内市町村別の全人口と15歳以下の人口 (R3. 10. 1現在)



(2) 第1期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況 (平成27～令和2年度)

① 総合戦略の基本目標ごとの数値目標、KPI達成状況

基本目標		数値目標達成状況 (達成数／項目数)	KPI達成状況 (達成数／項目数)
		R2	R2
1	しごとをつくり、若者・女性をはじめとする市民が、安心して働ける魚津にします	1／2	2／9
2	魅力あるまち魚津への新しいひとの流れをつくります	0／3	3／10
3	子どもを産み、育てることに喜びを感じられるまち魚津を目指します	1／2	1／7
4	活力ある地域をつくり、安心な暮らしを守る、魚津ふるさとづくりを推進します	0／1	2／4
計		2／8 (25.0%)	8／30 (26.7%)

(3) 第2期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況 (令和3～令和7年度)

①総合戦略の基本目標ごとの数値目標、KPI達成状況（令和3年度時点）

基本目標		数値目標達成状況 (達成数／項目数)	KPI達成状況 (達成数／項目数)
		R3	R3
1	魅力あるしごとをつくりそだて、 若者・女性が、魚津を働く場を選 択されるまちにします	1／3	2／6
2	にぎわいの空間をつくり、魚津へ の新しいひとの流れをつくります	0／3	4／9
3	安心・安全な暮らしを守り、子ど もを地域全体で育てるまちを目指 します	1／2	0／3
4	活力ある地域をつくり、持続可能 なふるさと魚津を目指します	2／2	3／5
計		4／10 (40.0%)	9／23 (39.1%)

※達成基準について

令和7年度目標値から基準値を引いた値を5ヶ年分で割って段階的に到達しているかどうかを判定しているものと、5ヶ年とも同じ目標値を設定しているものがあります。

②基本目標ごとの数値目標及びKPIの実績、主な事業内容について

※ピンク色のセルは目標達成

【基本目標 1】 魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性が、魚津を働く場を選択されるまちにします

数値目標

目標	基準値 ()は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
魚津市ふるさと寄附の件数	4,321件 (R元)	14,000	20,000	24,000	28,000	32,000
		11,684				
新規創業者数	11件 (R元)	25	25	25	25	25
		8				
年齢階級別純移動数（15～19歳と25～29歳の比較）※住民基本台帳より算定	▲36人 (H27) 単位(人)	▲ 30	▲ 27	▲ 24	▲ 22	▲ 20
		16				

重要業績評価指標（K P I）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
製造業の生産額	1,372 億円 (H30)	1,375	1,376	1,377	1,379	1,380
		R5年度 公表予定				
年間商品販売額	880 億円 (H28)	900	900	900	900	900
		-				
市産材生産量	4,626 m ³ (R元)	4,626	4,858	5,101	5,356	5,623
		4,806				
水産物取扱量	3,020 トン (R元)	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250
		2,778				
IoT プラットフォームアクセス数	令和 4 年度 (新規事業) 単位 (件)	-	2,500	5,000	10,000	10,000
		-				
電子地域通貨年間発行額	- 単位 (百万円)	200	450	700	950	1,200
		247				

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性が、魚津を働く場を選択されるまちにします

令和３年度における主な事業

事業名	ふるさと寄附推進事業
-----	------------

【事業概要】

ふるさと寄附を通じて本市の魅力ある地域産品を全国にお伝えし、魚津ファンの獲得を図るとともに、地場産業の振興を図る。

企業版ふるさと納税制度を活用し、本市が実施する地域経済の活性化、地方創生事業について官民連携を図る。

【主な取組及び成果】

受付WEBサイト数を７サイトから８サイトに、また、返礼品数を345品から579品に増やすなど寄付者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化に努めました。

寄附金額が424,528千円（約178,726千円増）、寄附件数が11,684件（2,140件増）と過去最高の実績となりました。

【今後の取組】

今後も寄附者の利便性の向上や新たな地域産品を掘り起こし、ニーズに合わせた商品の開発に努め、寄附金額の増加や魚津市の魅力発信につなげていきます。

事業名	６次産業化推進事業
-----	-----------

【事業概要】

地域の特産物を活用した６次産業化や地産地消を推進する。

【主な取組及び成果】

市内農業者（１法人・１組合）が取り組む加工品（焼き芋、干し芋、ジュース等）の開発にかかる資材（パッケージ等）の購入及び販売促進活動に対して、魚津市６次産業化推進事業補助金を交付しました。また、国の食料産業・６次産業化交付金の支援を受けて行う施設整備事業（ワイナリー）に対し魚津市６次産業化施設整備事業補助金を交付しました。これにより、６次産業化の取り組みが促進され、魚津市産の農産物がたくさんの市民に提供され、地産地消が推進されました。

魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の６次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。

【今後の取組】

６次産業化やブランド化に取り組む農業者等の施設整備に対して、引き続き支援を行うとともに、魚津市６次産業化等推進戦略の推進に取り組みます。

事業名	森林経営管理事業
-----	----------

【事業概要】

地元産木材を利用し、公共施設の木質化を推進するとともに、木材産業及び地域の活性化を図る。

【主な取組及び成果】

経営管理集積計画を策定のための境界明確化を15.3ha行い、木材需要拡大への対応や適正な樹齢で主伐できる環境を整え、魚津産材の利用促進が図られるようにしました。

10年以上管理されていない森林において経営集積計画をたてるため、平沢地内において、調査、測量を行いました。その後、森林整備（間伐）を発注し、冬期時期の発注となったため令和4年度に繰越しました。将来、森林境界を明確にすることで、木材の搬出や森林管理・施業実施に役立ちます。

【今後の取組】

森林は、公益、多面的機能を有する資源であり、適切な管理を行っていく必要があります。国や県事業の活用や市単独事業により林道や作業道の整備を行い、森林整備計画に基づき、「森林施業の実施」や「効率化や生産性向上のための生産基盤整備」を推進していきます。

森林の所有者や境界などの森林整備の基礎的データを整備し、計画的な整備を進めます。また、森林法に基づき林地台帳の整備を進めます。

森林環境譲与税を財源として森林整備等を進めます。

事業名	漁業振興・栽培増殖振興対策事業
【事業概要】 魚介類の安定供給や漁業所得の向上を図るため、養殖事業の展開や種苗放流による資源増殖の取組みを推進する。 【主な取組及び成果】 魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイ、クルマエビの種苗を放流しました。（R3放流量 ヒラメ：10,000尾、クロダイ：10,000尾、クルマエビ：40,000尾） 魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して支援しました。 【今後の取組】 水産資源の保全と確保を図るため、種苗の放流を引き続き行っていきます。 厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成など経営安定のための支援を引き続き行っていきます。 水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められていることから、漁業後継者の育成を推進していきます。	
事業名	創業者支援事業
【事業概要】 市内における新規創業に必要な初期費用を支援する。 【主な取組及び成果】 新規開業する方へ低利での資金調達や魚津市創業支援事業計画に基づく開業に対する指導や助成を行ったことにより、8件（技術サービス業2件、飲食業3件、理美容業2件、その他1件）の創業につながりました。 【今後の取組】 「魚津市創業支援事業計画」の枠組みを活用しながら起業を支援していくとともに、創業支援事業者が情報共有や意見交換等を行えるよう「魚津市創業支援事業者連絡会議」を開催し、市全体としての支援環境の充実やPRを推進します。併せて女性や若者が起業しやすいよう制度を整えるとともに、事業承継についても推進していきます。	

事業名	新分野産業育成事業
【事業概要】 ゲーム関連企業等の誘致を行う団体に対する活動費を支援する。 【主な取組及び成果】 ゲームクリエイターの掘り起こし及び育成を目的とした取組として「UOZU GAME BOOT CAMP」や「UOZUゲームジャム」等のゲーム開発イベントを6回開催し計139名の参加があり、ゲーム開発希望者の技術力向上につながりました。 都市圏ゲーム関連企業を市内へ誘致することを目的とした取り組みとして、都内企業への営業やアニメ・ゲームサミット2022への出展をオンラインで行い、コロナ過に対応しながら誘致活動を行いました。 ゲームクリエイターの育成等を通じて本市の地域経済の活性化を図るため、ゲーム映像会社1社と包括的連携協定を締結しました。 【今後の取組】 魚津市においてゲーム産業が定着するよう、ゲーム開発や運営に携わることのできる人材の育成やゲーム関連の創業支援・企業誘致に引き続き取り組みます。	
事業名	企業誘致事業
【事業概要】 企業誘致のための営業活動及びサテライトオフィス設置に対する助成を行う。 【主な取組及び成果】 サテライトオフィスの設置ニーズに素早く対応するため、旧村木小学校内に整備したトライアルオフィス（整備規模 約30㎡×6室）は、テレワークやワーケーション用に無料開放を行い、のべ200人が利用しました。 サテライトオフィス設置に興味のある企業情報を得るため、アポイント獲得業務を実施しました。（架電数6,393社 うちアポイント獲得18社 うち市内視察5社） 【今後の取組】 首都圏等からのサテライトオフィス等の企業誘致を想定し、旧村木小学校に整備したトライアルオフィスを活用し、引き続きアポイント業務の実施やサテライトオフィスマッチングイベントに参加する等、誘致に努め雇用の確保を目指します。	

事業名	電子地域通貨発行事業
【事業概要】 地域内での経済循環を活性化するため、電子地域通貨MiraPayを発行する。 【主な取組及び成果】 新型コロナウイルス感染症拡大により消費の落ち込んだ市内経済循環の活性化を図るため、電子地域通貨MiraPayを発行しました。 【今後の取組】 電子地域通貨MiraPayについては、他の先進地事例を調査、研究しながら、行政コインの付与やチャージキャンペーン等を実施することにより、市内での利用者や取扱店舗を増加させるとともに市内の経済循環の活性化を図ります。	

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくれます

数値目標

目標	基準値 ()は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
観光入込数	1,536 千人 (R元)	1,557	1,536	1,567	1,598	1,630
		923				
延べ宿泊者数	310 千人 (R元)	395	295	301	307	314
		190				
人口動態における社会動態	▲179 人 (R元)	▲ 145	▲ 110	▲ 75	▲ 40	±0
		10月公表 予定				

重要業績評価指標（K P I）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
県外からの移住者数	29人 (R元)	30	35	40	45	50
		41				
外国人延べ宿泊者数	13,503人 (R元)	22,000	5,000	13,500	14,000	14,500
		1,113				
新川地域宿泊者数	704千人 (R元)	845	702	712	722	733
		395				
観光消費額	73.0億円 (R元)	74.2	73.0	77.0	81.0	85.0
		43.5				
観光満足度	63.7% (R元)	64.5	64.8	65.2	65.6	68.0
		71.4				
居住誘導区域内の居住人口密度	34人／ha (H27)	34	34	34	34	34
		34				
経田漁港のボート上下架回数	660回／年 (R元)	688	716	744	772	800
		1,175				
スポーツイベントの参加者数	7,562人 (R元)	7,610	7,658	7,706	7,754	7,800
		コロナにより 中止				
魚津市の出生数	238名 (R元)	239	241	242	243	245
		216				

【基本目標2】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくれます	
令和3年度における主な事業	
事業名	経田漁港整備事業
【事業概要】 漁港施設・マリーナ施設の整備や機能保全を計画的に実施することで、施設利用者及び交流人口が増加し、漁業と海洋レクリエーションの融合による地域活性化を図る。 【主な取組及び成果】 経田漁港の機能回復や長寿命化を図るため、平成29年度から港内の浚渫を行っており、令和3年度は航路の浚渫工事（V=2,284m³）を行いました。 老朽化の進む経田漁港の浮桟橋や上下架施設等の整備を進めるため、「地方創生港整備推進交付金事業」の申請に必要な地域再生計画を作成しました。 【今後の取組】 水産物の生産・流通基盤の機能強化と海洋レクリエーションによる交流人口の拡大を図るため、老朽化している浮桟橋や上下架施設等について計画的に整備を進めていきます。	
事業名	うおづスポーツコミッション事業
【事業概要】 本市のスポーツ資源を活用し、スポーツ大会や合宿、イベントを観光、産業等の地域資源と結び付け、市民との交流や関係人口の増加等による地域活性化を目指すため、官民が一体となった取組を推進する。 【主な取組及び成果】 スポーツ団体や地域、経済、産業、観光など様々な団体等が参画する『うおづスポーツコミッション』を立ち上げ、スポーツ資源を活用したイベントを観光や産業等の地域資源に結び付け、地域活性化を図る道筋を示しました。 【今後の取組】 幅広い団体が連携したスポーツコミッション組織により、スポーツを通じた地域活性化を図ります。	

事業名	このとりプロジェクト婚活支援事業
	【事業概要】 独身の方へ出会いの機会を提供し、結婚の機運醸成を図っていくことにより、若年層の人口減少を抑制する。 【主な取組及び成果】 婚活パーティーを2回（参加者38名）、マインドアップセミナーを1回（参加者12名）開催しました。 「このとりマリッジサポート制度」（このとりサポーターによる登録者のマッチング）を継続して実施しました。 【今後の取組】 このとりマリッジサポート会員の増加を目指すとともに参加してみたいと思われる婚活イベントの企画に努めます。
事業名	住宅取得支援事業
	【事業概要】 子育て新婚世帯の定住を促進するため、市内での住宅取得に対する支援を行う。 【主な取組及び成果】 居住誘導区域内（6世帯）や子育て新婚世帯（41世帯）の住宅取得者に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行いました。これらの補助対象者の内、市外からの転入は、17世帯となっています。 また、転入してきた若年勤労者に対して、入居費：76件5,347千円、家賃：53件976千円を助成しました。 【今後の取組】 子育て世帯や新婚世帯の魚津市内での住宅取得や賃貸住宅の家賃への支援を行い、移住定住を促進します。

事業名	広域観光連携事業
-----	----------

【事業概要】

近隣自治体等と連携した観光PRの実施と、圏域内の受け入れ態勢の整備を行う。（「立山黒部」世界ブランド化推進事業、多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進計画）

【主な取組及び成果】

新川地域観光開発協議会（事務局：魚津市商工観光課）において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により従来型の首都圏や関西等における観光宣伝活動の代替事業として、県内観光地やショッピングモールでの出向宣伝やアンケート調査、県外施設において委託による地域の特産品販売や観光PR、及び大阪方面におけるオンライン商談会等を行いました。

にいかわ観光圏協議会（事務局：黒部市商工観光課）に参加し、海外現地旅行会社とのオンライン商談会や選ばれる観光地となるためのオンライン研修会の開催等を行いました。

とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げ支援プロジェクトとして、「紅ズワイガニ」のブランド力向上の検討を行ったほか、県内の観光先進地への視察や観光誘客ニーズ調査等を行いました。

富山湾岸サイクリングは悪天候により中止となりましたが、令和4年度のメイン会場の誘致に努めた結果、市制施行70周年を迎える魚津市に決定しました。

観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めました。

【今後の取組】

新川地域観光開発協議会及びにいかわ観光圏の役割を明確にし、効果的な連携体制のもと総合観光イベントの出展や広域周遊観光の促進に努めます。

関係人口の拡大を図るためにも、国内外を問わず交流都市等との連携強化に努めます。

インバウンド推進事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、従来型の誘客事業等が困難な状況ではインバウンド需要回復後の準備期間と捉え、受入体制の整備や情報発信など、できる範囲の事業を工夫しながら実施し、いつでも誘客事業等に対応できるよう取り組みます。

新型コロナ終息後を見据えたインバウンド対策には広域的に取り組んでいく必要があり、滞在型、周遊型観光メニューの開発や充実を図ります。

事業名	総合公園賑わい創出事業
【事業概要】 みらパークの賑わいが増加することを目的に、子育て世代から高齢者までの広い世代を対象としたイベントの定期開催や子どもの遊び場などの環境整備を行う。 【主な取組及び成果】 みらパーク（魚津総合公園）の老朽化した各施設を指定管理者である魚津市施設管理公社と協議のうえ、3箇所の修繕工事を行いました。 みらパーク（魚津総合公園）において、賑わい創出パートナー事業者が各種イベントを42回開催し、約2,900人の参加がありました。 【今後の取組】 魚津総合公園の賑わいを図るため、指定管理者や民間事業者と連携し、利用者の増加に向けた取組を進めます。	

○地方創生関係交付金事業

【市単独事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	地域商社による魚津の食ブランディング事業
事業期間	H29年度～R 3 年度

【事業費】

(千円)

年度	H29	H30	R元	R2	R3	期間計
事業費	15,609	13,377	8,609	0	3,000	40,595
うち交付金	7,805	3,388	4,305	0	1,500	16,998

【事業概要】

魚津の魅力ある地域資源や製品の発掘や磨き上げ、商品開発、販路開拓を行う事業者を育成し、マーケティング活動を通じて、価値に見合った価格での販売を目指す。ノウハウを蓄積し、地域の魅力幅広く発信することで、地域の事業者などの経済活動を活性化させ、特色ある地域経済の活性化と持続性を目指す。

【KPI】

※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	H29	H30	R元	R2	R3
地域商社の取引額（百万円）	目標値	—	1.00	9.00	20.00	30.00	40.00
	実績値	0.00	0.34	0.94	0.72	1.73	3.01
食料品製造業の製造品出荷額（百万円）	目標値	—	4,805.86	4,905.86	5,005.86	5,105.86	5,205.86
	実績値	4,705.86	4,343.75	4,220.12	3,574.11	4,013.20	4,013.20
観光消費額（百万円）	目標値	—	7,266.00	7,647.00	8,028.00	8,409.00	8,790.00
	実績値	6,885.00	7,462.00	7,112.00	7,301.00	4,194.00	4,354.00

【主な取組及び成果】

≪H29年度≫ 地場産品のブランディングや販路開拓を一元的に担う「地域商社機能」を持った組織を立ち上げ、事業者の稼ぐ力向上につなげるという目的を掲げ、ECサイト内の地域ブランドギフト専門店で魚津の店を出店し販路拡大とマーケティングデータの取得に取り組んだ

≪H30年度≫ インターネット広告を実施するなどしたがECサイト内での販売が伸び悩んだため、これを足がかりとして市内事業者へ地域商社事業への参画を促していくことは困難と判断し、実店舗で地場産品を販売する取組を検討していくこととした。

≪R元年度≫ 地域商社機能を持った組織の設立に向け魚津市施設管理公社と協働。うおづ印ブランドのロゴを作成し地場産商品にロゴを貼り付け市内各所で販売を行うほか首都圏でも販売PRイベントを実施した。

≪R2年度≫ コロナ禍により事業実施出来ず。

≪R3年度≫ 魚津市施設管理公社に事業を委託し10店舗での地場産商品の販売に力を入れた。また「うおづ印のうまいもん」を商標登録申請した。R4年7月13日商標登録完了。

≪検証≫

魚津市施設管理公社では市内の店をチョイスしテイクアウト販売をするイベントを展開しており、市民にも認知され始めている。継続的に開催することで「うおづ印のうまいもん」の認知度も高まってきており今後の事業拡大が見込める。

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業
事業期間	R元年度～R3年度

※「富山県地域交通活性化推進会議」等で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分

(千円)

年度	R元	R2	R3	期間計
事業費	347	281	292	920
うち交付金	174	140	146	460

【事業概要】

- 地域公共交通ネットワークの確保・充実
- 県内外との広域交通ネットワークの確保・充実
- 富山空港の機能の充実

○令和3年度魚津市の事業実施内容

とやまロケーションシステム維持管理委託業務 292,419円

【KPI】 ※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R元	R2	R3	R4	R5
鉄軌道・バスの利用率 (県民1人当たりの年間 利用回数)(回)	目標値	—	46.50	46.55	46.55	46.55	46.55
	実績値	46.00	45.50	34.80	<u>46.55</u>		
観光客の県内交通機関の 満足度(%)	目標値	—	53.80	52.80	52.80	52.80	52.80
	実績値	50.80	45.20	55.00	<u>52.80</u>		
農林漁業等体験者数(県内にお ける棚田オーナー、観光農園、 地引網等の体験活動に参加した 述べ人数)(人)	目標値	—	70,073	70,073	70,074	70,074	70,074
	実績値	68,199	70,005	19,044	<u>70,074</u>		
富山空港国内・国際路線 (チャーター便含む)の 利用者数(人)	目標値	—	576,730	577,785	577,785	577,785	577,785
	実績値	573,120	545,233	95,023	<u>577,785</u>		

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	「立山黒部」世界ブランド化推進事業
事業期間	R 2 年度～R 6 年度

【事業費】※魚津市負担分 (千円)

年度	R2	R3	期間計
事業費	1,000	1,000	2,000
うち交付金	500	500	1,000

【事業概要】

- 「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトの推進
「立山黒部」を世界水準の「体験型・滞在型」の山岳観光地とし、「立山黒部」を核とした本県の観光ブランドのさらなる醸成・発展を図る。官民が連携して「立山黒部」の世界ブランド化に向けて取り組む。
 - 「立山黒部」の世界ブランド化のための山岳観光地としての環境整備
国内外からの観光客、登山者等に安全に楽しんでもらうため、登山道や遊歩道の整備、安全登山対策、利用者へのガイドの充実、ライチョウ保護等に取り組み、観光振興と環境保全が調和のための環境を整備（オーバーツーリズムへの対策）する。
- 令和3年度魚津市の事業実施内容
富山湾湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光県協議会負担金 2,900千円(うち交付金対象事業分 1,000千円)

【K P I】 ※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R2	R3	R4	R5	R6
立山黒部アルペンルート の観光入込数（人）	目標値	-	906,000	906,000	906,000	906,000	906,000
	実績値	883,000	230,000	304,000			
黒部ルート の旅行者数（人）	目標値	-	-	-	-	-	7,000
	実績値	0	-	-			
オンライン登山届 コンパスの利用者数（人）	目標値	-	23,132	24,132	25,132	26,132	27,132
	実績値	10,632	10,308	<u>11,070</u>			
旅行者の満足度（%）	目標値	-	75.52	75.52	75.52	75.52	75.52
	実績値	74.40	69.20	<u>75.52</u>			

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業
事業期間	R3年度～R5年度

※（公社）とやま観光推進機構「マーケティング戦略委員会」で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分 (千円)

年度	R3	期間計
事業費	2,895	2,895
うち交付金	1,447	1,447

【事業概要】

- アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
- 北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
- 「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
- 美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

○令和3年度魚津市の事業実施内容

日本版DMO活動事業分担金 1,441,000円

観光資源重点磨き上げ支援重点プロジェクト事業実施分担金 1,453,861円

【KPI】 ※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R3	R4	R5
観光消費額単価（宿泊・日帰り）（円／人回）	目標値	-	9,120	9,120	9,120
	実績値	8,880	<u>9,120</u>		
観光入込客数（実数）（千人）	目標値	-	11,069	11,069	11,069
	実績値	11,039	<u>11,039</u>		
日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数（人）	目標値	-	22,500	22,500	20,000
	実績値	15,000	<u>15,000</u>		
県立美術館等の年間来館者数（人）	目標値	-	420,000	450,000	500,000
	実績値	400,000	<u>540,000</u>		

【基本目標3】 安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てる
まちを目指します

数値目標

目標	基準値 ()は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
合計特殊出生率	1.40 (R元年)	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80
		R5算出				
ICT 機器の活用率	小学校55.2% (R元)	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0
		86.8				
	中学校79.2% (R元)	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		98.6				

重要業績評価指標（K P I）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
子育て世代包括支援センター相談件数	2,314件 (R元)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		1,724				
子育て支援センターの延べ利用者数	10,906人 (R元)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		7,453				
子育て短期支援事業 (ショートステイ事業) 利用者数	令和4年度 (新規事業) 単位(人)	1	1	1	1	1
		-				

【基本目標3】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します	
令和3年度における主な事業	
事業名	ママと子どもが輝くまちづくり事業
【事業概要】 ママと子どもが楽しめるイベントを年間とおして企画、運営する。 【主な取組及び成果】 新型コロナ感染症拡大により、ママや子どもの交流や活動の場が減少していることから、ママや子ども向けのイベントをフリーランスママを支援する団体に委託し、移住者ママのコミュニティ子育て世代のネットワーク拡大を目指しました。 【今後の取組】 まちづくりに精力的に活動している方々と連携し、若者が楽しめるイベントを実施し、賑わいを創出し、住み続けたいと思えるようなまちづくりに努めます。	
事業名	子育て支援コーディネーター設置事業・子育て世代包括支援センター事業
【事業概要】 コーディネーターを配置し、子育て家庭の個別ニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての情報収集・提供、相談、助言等を行う。 【主な取組及び成果】 子育て世代包括支援センターに助産師等の専門職を配置して、妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目のない相談対応を実施しています。 子育て世代包括支援センターの職員と子育ての悩みなどの相談を行っている子育て支援コーディネーターの連携を図り、情報の共有など多角的な支援に努めました。また、子育て支援コーディネーターによる「保育サービスに関する相談日」を設け相談体制の充実を図りました。 【今後の取組】 コロナ禍において、オンライン相談体制の整備などを含め、相談体制の充実に努めます。	

事業名	不妊治療費助成事業
	【事業概要】 不妊治療を受けている夫婦に対し、治療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図る。 【主な取組及び成果】 治療の開始時年齢（妻）が43歳未満の夫婦を対象とした、保険診療以外の体外受精・顕微受精不妊治療費に対する助成と併せて、不育症の検査・治療費に対する、助成を継続して実施しました。 不妊治療費助成R 3：70件（39組）、不育症治療費助成R 3：1件（1人） 【今後の取組】 不妊治療費については、国の補正予算による事業の拡充を踏まえて市の不妊治療費の助成を行いました。令和4年4月から特定不妊治療が保険適用となることから、市の助成制度を見直し、再構築します。
事業名	こども・妊産婦医療費助成事業
	【事業概要】 18歳までの児童の医療費助成や妊産婦の指定症状に係る医療費助成を行う。 【主な取組及び成果】 こども医療費については、入院・通院ともに令和3年9月までは中学校3年生まで、令和3年10月以降は高校3年生までに対象者を拡充し、50,429件：99,264,718円助成しました。（所得制限なし） 妊産婦医療費については、552件：4,130,109円助成しました（所得制限なし）。 【今後の取組】 事業実施を継続します。

事業名	プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業
【事業概要】 プログラミング教育、ふるさと教育の推進のほか、ロボコン大会の実施等を行う。 【主な取組及び成果】 プログラミング教育推進協議会の設置、開催及びプログラミング教材を購入しました。また、教員を対象にした研修会やキッズプログラミングスクール開催及び紅ズワイガニロボコンを開催しました。 【今後の取組】 児童の論理的な思考力や問題解決能力の育成を目的に、プログラミング教育は必要で、教員の授業力の向上は重要であり、研修の充実に努めます。また、児童がスムーズにプログラミングを学習するための支援を行います。	

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

数値目標

目標	基準値 ()は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市管理施設のCO ₂ 排出量	8,183t-CO ₂ (R元)	8,020	7,940	7,861	7,782	7,740
		7,084				
公共施設面積	187,139 m ² (R元)	185,597	185,182	184,966	184,966	168,144
		184,973				

重要業績評価指標（KPI）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市民1人1日あたりのごみ排出量	847.8g (R元)	831	823	814	806	798
		827.0				
資源化率	18.8% (R元)	19.0	19.1	19.2	19.3	19.4
		18.8				
文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	1,289人 (R元)	900	1,290	1,310	1,330	1,350
		901				
成年後見制度利用者数	56件 (R2.11月)	58	60	62	64	65
		71				
健康寿命	男性 79.33歳 (H29)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		R6.2頃				
	女性 84.63歳 (H29)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		R6.2頃				

【基本目標4】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します	
令和3年度における主な事業	
事業名	市民参画・協働推進事業
【事業概要】 市民参画・協働推進のため自治基本条例の見直しや市民フォーラムを開催する。 【主な取組及び成果】 うおづまちづくりふれあい講座として、「魚津市の防災対策」等の講座を47回開催し880名が受講しました。 市と地域振興会や高校、団体と協働して、市民を対象としたまちづくりフォーラムを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにより開催し、約400名の視聴（アーカイブ含む）がありました。（「株」シマネプロモーション 三浦大紀氏の基調講演「関わることをおもしろく」と市内3地区、魚津市まちづくりチャレンジ事業実施2団体、25歳の成人式実行委員会による活動事例発表） 13地区、新川高校、25歳の成人式実行委員会の活動紹介のパネルを市内ショッピングセンター等（4か所）に掲示し、地域活性化の活動を広く市民へ周知しました。 【今後の取組】 市民参画協働の推進のため、市民が魚津市自治基本条例をより身近に感じてもらえるよう、条例の見直しに併せ、CATV等を活用し、条例の周知に努めます。 市民の自由な発想を生かした事業提案を行う「まちづくりチャレンジ事業」を実施することにより、市民等と市が協働して地域課題の解決に向けて取り組む体制を整えます。	

事業名	ゼロカーボンシティ推進事業
【事業概要】 ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組や、再生可能エネルギーの導入に関する調査・研究等を行う。 【主な取組及び成果】 ○地球温暖化対策実行計画推進事業 環境省の補助事業を活用し、市内の再生可能エネルギーのポテンシャル調査等を実施するとともに、市内のステークホルダーで組織する協議会で、2050年のゼロカーボンシティ達成に向けた計画（区域施策編）の協議を行いました。 「第4次地球温暖化防止魚津市役所実行計画」に基づく地球温暖化対策を周知、実践するとともに、「グリーン購入調達方針」に基づく環境に配慮した物品調達、使用に努めました。 【今後の取組】 協議会において、ゼロカーボンシティ達成に向け、市で実施する重点事業等を定めた地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定します。 再生可能エネルギーの導入に向けた小水力発電や太陽光発電の設置に関する調査やEV車両の導入などの事業を実施します。 「COOL CHOICE宣言」や「ゼロカーボンシティ宣言」を契機に、魚津市全体で、温室効果ガス削減に取り組むこととし、市民や事業者への周知・啓発に努めます。	
事業名	文化財保存活用事業
【事業概要】 文化財指定に必要な測量調査や普及啓発事業、市内文化財の保存・活用・継承等にむけた指針、計画の策定や活動等を行う。 【主な取組及び成果】 米騒動から100年を迎えた年に制作されたドキュメンタリー映画『百年の蔵』を短く編集した、小中学生用の教材（DVD、BD）を作成し、市内学校等教育機関に配布しました。 指定文化財写真フィルムや『魚津町誌』（明治43年刊行）のデジタル化を行いました。 松倉城跡の魅力などを紹介する山城探訪ツアー（11月23日・16名参加）を行いました。 魚津まつりが2年連続で中止となり、たてもん協力隊事業も中止しました。また、保存会で予定していたたてもんの組み立ても中止となりました。	

たてもんと全国植樹祭レガシー事業として、たてもんの森の定期的な草刈りや枯れ木の捕植、周辺木の伐採等の環境整備事業と親子での草刈りイベントを実施しました。また、たてもん祭りのユネスコ無形文化遺産登録5周年を記念して、県と高岡市、南砺市とともに、パネルディスカッションやパネル巡回展を開催しました。

【今後の取組】

市民が文化財への関心と理解を深め、地域に愛着や誇りを高め、さらには観光資源としての魅力を向上させ、交流人口の拡大や市内の賑わい創出につなげるために、企画展の開催や文化財の周辺整備、PR事業等を実施し、本市における未来へ引き継ぐ地域遺産（文化財等）の保存、継承、活用に努めます。

事業名	成年後見制度利用促進事業
-----	--------------

【事業概要】

必要な人が成年後見制度を利用できるよう、中核機関（魚津市成年後見支援センター）において制度の広報や相談、人材育成等の利用促進事業を実施する。

【主な取組及び成果】

○成年後見制度利用支援事業

身寄りがない等判断能力が減退した高齢者に対して代理権・同意権を持つ成年後見人等を選任する申立に対して支援を行いました（1件）。

○社会福祉一般管理費

市民後見人養成講座開催業務を市社会福祉協議会に委託し、6人の受講がありました。また、「成年後見セミナー」を2回実施しました（受講者20名、26名）。

魚津市成年後見支援センターを社会福祉課内及び市社会福祉協議会内に立ち上げました。（令和4年3月）

【今後の取組】

成年後見制度の周知・啓発に努めるとともに、市民後見人を養成する取組を強化していきます。

事業名	健康づくり推進事業
-----	-----------

【事業概要】

健康意識の向上を図るため、栄養・運動・健診の分野において普及啓発を進める。

【主な取組及び成果】

地区健康講座や生活習慣病予防を中心とした健康づくりイベント教室を計3回開催し、合計86人の参加がありました。また、食生活改善推進員の養成と育成に努めました。

健康づくりの啓発として、昨年に引き続きミラたん健康ポイント事業を実施し、参加者は664人でした。

「健康づくり推進プロジェクト健康うおづプラス1（ワン）」により、“食” “運動” “健診” を柱とした取り組みを強化しました。

【今後の取組】

生活習慣病予防として、高血圧や糖尿病の発症予防と重症化予防対策に取り組めます。また、魚津市医師会や富山労災病院、関係機関と連携を図りながら、各種教室や相談、訪問指導等を実施していきます。

介護予防事業については、関係課と連携を図り身体機能別にプログラムを再構築して実施します。（フレイル予防教室、通所型サービスB、通所型サービスCなど）また、要介護度の分布状況などを分析し、取組に活かします。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」について、医療情報を踏まえた介護予防の取組とするなど、関係機関と十分に連携を図り実施していきます。